

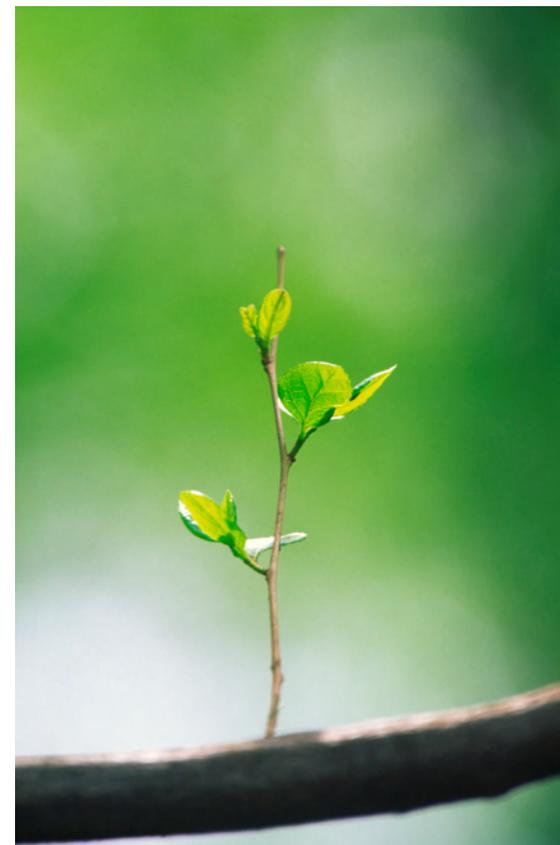
インマヌエル中目黒キリスト教会
2011年3月27日
聖日礼拝

ネヘミヤ記連講7

「働く気があったから」

ネヘミヤ書4章1-6節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ネヘミヤ記4章1-6節

1 サヌバラテは
私たちが城壁を修復している
ことを聞くと、
怒り、また非常に憤慨して、
ユダヤ人たちをあざけた。

2 彼はその同胞と、
サマリヤの有力者たちの前で
言った。
「この哀れなユダヤ人たちは、
いったい何をしているのか。
あれを修復して、
いけにえをささげようと
するのか。
一日で仕上げようとするのか。」

焼けてしまった石を
ちりあくたの山から
生き返らせようとするのか。」

- 3 彼のそばにいたアモン人トビヤも
また、
「彼らの建て直している城壁
なら、一匹の狐が上っても、
その石垣をくずしてしまう
だろう」と言った。

4 「お聞きください、私たちの神。
私たちは軽蔑されています。
彼らのそしりを彼らの頭に返し、
彼らが捕囚の地で
かすめ奪われるように
してください。

5 彼らの咎を赦すことなく、
彼らの罪を御前から
ぬぐい去らないでください。
彼らは建て直す者たちを
侮辱したからです。」

6 こうして、
私たちは城壁を建て直し、
城壁はみな、
その高さの半分まで
継ぎ合わされた。
民に働く気があったからである。

説教

ネへミヤ記連講7

「働く気があったから」

ネへミヤ記4章1節-6節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「こうして、
私たちは城壁を建て直し、
城壁はみな、
その高さの半分まで
継ぎ合わされた。
民に働く気が
あったからである。」

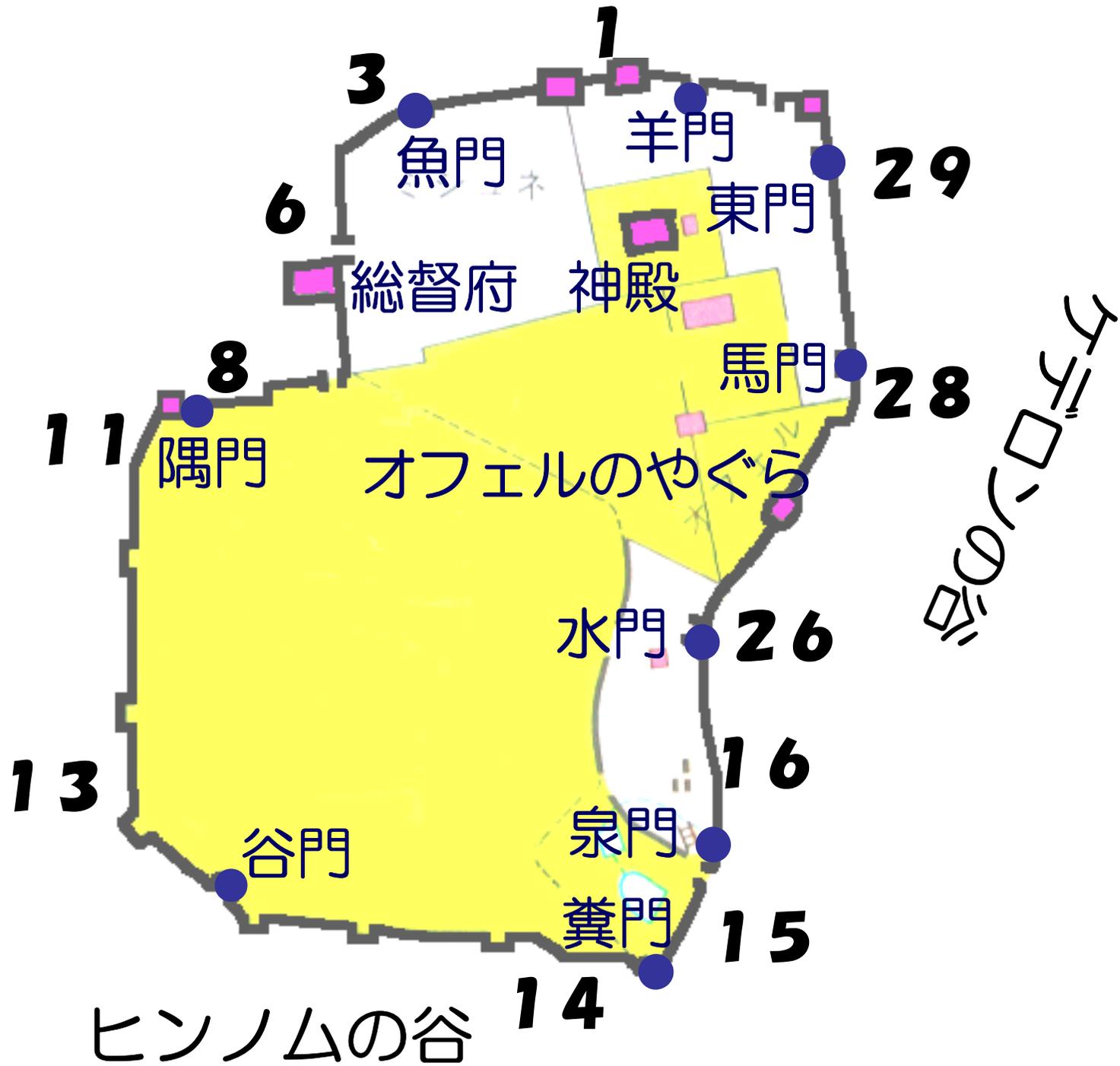
(ネヘミヤ4：6)

はじめに：城壁再建工事が始まる

(城壁の図を参照)

数字は3章の節数

【工事割の計画】



A. サヌバラテの嘲り

(1 - 3節)

- ・ サヌバラテは怒る

- ・ 「悪口」という武器を繰り出す
- ①労働者の貧弱さ：
「この哀れなユダヤ人たち！」
- ②目的の不明確さ：
「修復して、いけにえを？」
- ③工事の乱雑さ：
「やっつけ仕事だ」
- ④材料の貧弱さ：
「焼けた石を使うなんて」

- トビヤが相槌を打つ：
「狐が上っても崩れる」

B. ネヘミヤの祈り（4－5節）

- ・ 聞いてください：
ネヘミヤへの嘲りは神への嘲り
- ・ 裁いてください：
正義の神の審判を！
- ・ 覚えてください：
神を嘲る罪の深刻さを！

C. 工事の進捗（6節）

- 半分に達する勢い：
嘲りにも拘わらず・・・
- 士気は高かった：
「民に働く気があったから」
 - ①嘲りに動かされない集中心
 - ②ネヘミヤの指導性
 - ③主のために！

終わりに：喜んで十字架を担おう